



目指せ！ 平成維新

く使いこなす」ことなんかできやしないからです。

の政策的支柱として活躍している特別顧問の上山信一さん（運輸省脱藩組）、原英史さん（通産省脱藩組）、山中俊之さん（外務省脱藩組）、「さらば財務省」「埋蔵金男」の高橋洋一さん（財務省脱藩組）、テレビでも活躍中の岸博幸さん（通産省脱藩組）たちが名前を連ねています。

手口を知り尽くした元官僚で、かつ出身官庁と縁を切っている者（脱藩官僚）しかいない」ということです。

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。

「維新の会」の後見人的存在の堺屋太一さんは私の通産省の大先輩

彼らは、今、国ではできない「大改革」を、大阪で先行的に実現するために汗をかいています。しかし、いざ国でも「真の平成維新」を実現する政権ができれば、すぐにでも駆けつけてくれるメンバーだと期待しています。この「脱藩官僚の会」。最近も年数回、勉強会や懇親会を開きながら、「来るべき時」を待っていると云って良いでしょう。

今、「大阪維新の会」が次々にスピード感をもって斬新なアイデア、政策を打ち出しているのは、もちろん、橋下徹市長や松井一郎府知事のリーダーシップもあるのでしょうが、やはり、そのブレイクである「脱藩官僚」たちの働きも大きいのではないのでしょうか。

でもあり、みんなの党結党の時は大変お世話になった方です。古賀茂明さんも私の通産省の後輩で、彼が今八面六臂の活躍を

.....

私に、今の政治、特に国政の体たらくを見て、益々、「脱藩官僚が日本を変える！」との感を強くしています。と言うのも、私には一つの「確信」があつて、今の政治家のレベルからすると、とても官僚を「うま

はじまらないのも事実です。そういう問題意識を背景に、私は08年6月に「脱藩官僚の会」（正確には『官僚国家日本を変える元官僚の会』）を設立します。

要は「官僚に太刀打ちできるのは、その

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。「国民目線が必要だから素人政治家がいてもいい」という考えもあるでしょう。しかし、この国を動かすということは、政治や行政を前に進めるということは、霞が関と

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

「脱藩官僚の会」が次々にスピード感をもって斬新なアイデア、政策を打ち出しているのは、もちろん、橋下徹市長や松井一郎府知事のリーダーシップもあるのでしょうが、やはり、そのブレイクである「脱藩官僚」たちの働きも大きいのではないのでしょうか。

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。「国民目線が必要だから素人政治家がいてもいい」という考えもあるでしょう。しかし、この国を動かすということは、政治や行政を前に進めるということは、霞が関と

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。「国民目線が必要だから素人政治家がいてもいい」という考えもあるでしょう。しかし、この国を動かすということは、政治や行政を前に進めるということは、霞が関と

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。「国民目線が必要だから素人政治家がいてもいい」という考えもあるでしょう。しかし、この国を動かすということは、政治や行政を前に進めるということは、霞が関と

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

「政治には素人感覚が必要だ」。確かにそうした一面があることは私も認めます。「国民目線が必要だから素人政治家がいてもいい」という考えもあるでしょう。しかし、この国を動かすということは、政治や行政を前に進めるということは、霞が関と

「大阪での大改革、いつか国でも

.....

大阪維新の会を支える「脱藩官僚」の力

WHO'S WHO

江田憲司（えだ・けんじ）1956年岡山県生まれ。東大法卒。通産省入省。ハーバード大研究員、大臣秘書官等を経て橋本内閣の首相秘書官。中央省庁再編や財政再建、普天間・北方領土返還等に携わる。完全無所属で衆院議員を務め、09年8月にみんなの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。